

April
2015

The Record vol.665

Coming Next 2015 開催 ～ 17 組の Next Artist が NHK ホールで競演！～
「第 7 回 CD ショップ大賞 2015」授賞式開催



RIAJ
Recording Industry Association of Japan

Contents

Monthly News Digest..... 1

特集

Coming Next 2015 開催
~17組の Next Artist が NHK ホールで競演!~... 3

特報

「第7回 CD ショップ大賞 2015」授賞式開催 8

平成 27 年度事業計画書 9

公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出 ... 11

ヒットの裏側 12

Monthly Production Report 13

GOLD DISC 14

2/23

ファイル共有ソフト等を 悪用した著作権法違反事件 一斉集中取締りの実施について

警察庁から当協会が加盟する不正商品対策協議会（ACA）に入った連絡によると、全国の38都道府県警察は、ファイル共有ソフト等を悪用した著作権法違反事件の一斉集中取締りを2月17日から19日までの3日間に実施し、133箇所を捜索、40人を検挙（2月20日現在）した。当協会会員レコード会社に関わる事件概要は、以下のとおり。

警察(所轄)	被疑者	ソフト等
香川県警 (観音寺警察署)	愛媛県松山市 在住・30代男性	Cabos
神奈川県警 (中原警察署)	神奈川県相模原市 在住・20代男性	Share

これらの被疑者は、ファイル共有ソフトを悪用し、音楽ファイルや動画ファイル等を大量にアップロードし、不特定多数のユーザーに対して送信できるようにして著作権（公衆送信権）・著作隣接権（送信可能化権）を侵害した疑いが持たれている。

当協会は、「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会（CCIF）」が実施する啓発メールの送付活動に参加しており、ファイル共有ソフトのネットワークに著作権・著作隣接権を侵害するコンテンツを公開している個々のユーザーに対し、ファイルを削除するよう求める活動も行っている。今後も会員社・関係権利者や団体・警察と連携を密にし、積極的に違法行為撲滅のための取組みを実施していく。

3/4

当協会楠本部長ブライダル産業 新聞主催ブライダルフェアで 「ブライダルコンテンツ 利用許諾スキーム」を紹介

3月4日、大阪府大阪市のマイドームおおさかで開催された、株式会社ブライダル産業新聞社主催のブライダルフェアにて、「CD音源複製の著作権侵害を改めて学ぶ」をテーマとする無料セミナーが行われ、約50名の参加があった。

当日は、大阪大学知的財産センター濱口太久未特任教授から、ブライダルシーンにおける音楽の著作権・著作隣接権について講演があった。続いて、当協会 著作権・契約部 楠本部長および一般社団法人日本音楽著作権協会 複製部 野方部長から、ブライダルコンテンツ制作時における音楽の利用について、著作権・著作隣接権の利用許諾に関する手順の説明が行われた。その後、質疑応答を通じて、参加者の理解が深められた。



3/5

第61回RIAJセミナー開催

3月5日、東京都港区のスタンダード会議室において、第61回RIAJセミナーが開催された。今回のセミナーは、株式会社電通の西井美保子氏を講



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

師に招き、「若者の消費行動について～“今”求められる、ヒットを生み出すマーケティング戦略～」をテーマに実施。当日は、会員社の制作・A&R、マーケティング・販売促進部門などを中心に108名が参加した。

講演では、まず「経済」「人口・教育」「情報」「娯楽」をキーワードに、現代の若者たちの成長背景を振り返りながら、彼らの持つ価値観の説明があった。また、15～29歳の若者の調査データを元に、メディア接触や検索、情報共有・拡散行動等を要素としたクラスター分析結果を紹介。さらに、ヒット商品を生み出すコミュニケーションヒントについて説明が行われた。

参加者からは、「若者たちにとっての「音楽」が他社アーティストとの人気競争のみならず、他の娯楽・時間との戦いになっていることに、根本から考えさせられた」「クラスター分析により、どのような人が情報拡散・共有の中心になっているのかが興味深かった」といった意見が寄せられた。



◆◆会員社のお知らせ◆◆

■ (3月1日付)

社名：株式会社 A-Sketch (準会員)
 代表：代表取締役社長 相馬 信之
 住所：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町
 18-4 二宮ビル3F
 電話番号：03-5457-5566
 ※アミューズソフトエンタテインメント株式会社から、会員資格を承継

■ 会員資格変更 (4月1日付)

社名：株式会社ランティス (準会員から正会員に変更)

■ 退会 (3月31日付)

社名：株式会社自主制作コンテンツ出版管理機構 (賛助会員)

◆◆当協会組織変更◆◆

■ (4月1日付)

- 企画部をマーケティング・グループと海外マーケティング・グループの2グループ制とする
- DS部所管のシステム・ネットワーク業務を管理部に移管、その他DS部所管のデジタルビジネス関係業務を企画部マーケティング・グループに移管し、DS部は解消する
- 広報部所管の日本GD大賞業務を企画部マーケティング・グループに移管する
- 広報部所管の海外市場拡大関係業務を企画部海外マーケティング・グループに移管する
- 企画部所管のレコード寄贈業務を広報部に移管する

◆◆当協会事務局人事◆◆

■ 昇格 (4月1日付)

丹野 祐子

広報部 課長 (前：広報部 課長補佐)

■ 異動 (4月1日付)

佐野 浩一郎

著作権保護・促進センター (CPPC)
 副センター長 (前：企画部 課長)

末永 昌樹

企画部 マーケティング・グループ
 課長 (前：DS部 課長)

米内 友伸

企画部 海外マーケティング・グループ
 課長 (前：広報部 課長)

RIAJ2015年3月度理事会・総会議案

理事会議案

■ 審議事項

1. 委員会体制の変更および委員長人事について
2. 顧問委嘱の件
3. IPマルチキャスト放送局との契約締結に伴う管理委託契約約款変更の件
4. 会員資格の変更について (準会員→正会員：ランティス)

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 (1) MPA/JIMCA「世界的著作権の日・記念上映会」後援依頼について
2. 法制委員会関係報告
 (1) コミュニティ放送局からの訴訟提起の件
 (2) 著作権分科会報告
3. デジタル委員会関係報告
 (1) デジタルビジネス部会報告
4. マーケティング委員会関係報告
 (1) 「Music Jacket Gallery2015」開催概要について
 (2) 「第7回CDショップ大賞」授賞式実施報告
 (3) 2014年度インターネット廃盤セール実施報告
5. 広報委員会関係報告
 (1) 「第29回日本ゴールドディスク大賞」結果報告
6. Coming Next 2015 実行委員会関係報告
 (1) Coming Next 2015 開催報告

臨時総会議案

■ 審議事項

1. 平成27年度事業計画書(案)および平成27年度収支予算書(案)について

Coming Next 2015 開催

～ 17組の Next Artist が NHK ホールで競演！～



2月15日、東京都渋谷区のNHKホールにおいて、当協会が主催する「Coming Next 2015」が開催された。当協会正会員社が、「次に聴いて欲しい」17組のNext Artistの競演により、ジャンル・レーベルを超えた瑞々しいステージが展開された。当日は開場前から多くの観客が列を連ねる姿が見られるなど、約3,000名の来場者がNHKホールに集った。

次々に繰り広げられる17組のアーティストの躍動感溢れるパフォーマンスに加え、MC・サッシャ氏とアーティストの和やかなトークやプレゼント抽選会を交えながら、約5時間にも及ぶイベントは大盛況のうちに幕を閉じた。なお、当日の様子はUstreamにおいて生配信も実施された。



キュウソネコカミ JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

昨年の春夏フェスでは、ステージのキャパオーバーの動員力を発揮。「Coming Next2015」前日も、過去最大キャパの豊洲PITでワンマン追加公演を大成功させたキュウソネコカミ。冒頭、飄々としたヤマサキセイヤ (Vo.Gt) のMC『どうも、西宮から来ました、SEKAI NO OWARIです』から一転、途中数度の衣装替えを交えながら、トップバッターから見事に会場を巻き込む熱演を届けた。『変なことをやってるのに、意外とみんな盛り上がって踊ってくれて楽しかった』

【セットリスト】 ①Scary song ②ビビった

バリキュン!! 徳間ジャパンコミュニケーションズ

愛媛県松山市のご当地アイドルユニット「ひめキュンフルーツ缶」と、同県今治市のご当地キャラクター「バリィさん」が、地元愛媛を盛り上げるべく結成されたコラボユニット。普段はロック色の濃いひめキュンの、キュートな一面が打ち出された楽曲が特徴。途中、バリィさんがダイナミックなダンスにより、トレードマークの船型の財布を落とすアクシデントも、すかさずメンバーがフォロー。終始抜群のチームワークを見せた。

【セットリスト】 ①恋のBRKN! ②「そでギョ」で始まる乙女道



乙女新党 パップ

昨年は6人体制となって初のシングル「ビバ!乙女の大冒険っ!!」を11月に発売。さらにTOWER RECORDSの人気企画「NO MUSIC, NO IDOL」のポスターに登場するなど、新たな試みにも挑戦した乙女新党。フレッシュでキュートなパフォーマンスで、ペンライトを振り回す観客と一体になって盛り上がった。『2015年は私たちにとって、大きなチャンス、飛躍の年となると思いますので頑張ります!』

【セットリスト】 ①ビバ!乙女の大冒険っ!! ②サクラカウントダウン



La PomPon ピーイング

1月28日に待望のメジャーデビューを果たした、平均年齢15歳の6人組ダンスボーカルグループ・La PomPon。グループ名にはPower Of Music (音楽の力) でPride Of New generation (新しい時代の誇り) となるという意味が込められている。活動開始前の約2年間、毎日のように歌やダンスのレッスンを積み重ねてきたというのも納得の、完成度の高いはつらつとしたパフォーマンスで観客を沸かせた。

【セットリスト】 ①恋のABC ②BUMPI!



和楽器バンド エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ

昨年はバリ「JAPAN EXPO 2014」で4,000人の海外ファンを魅了。今年5月の台湾公演チケットも3分で完売するなど、日本のみならず世界を舞台に活躍する和楽器バンド。詩吟、和楽器(琴、尺八、三味線、和太鼓)、ロックを融合させた唯一無二の濃密なサウンドで、YouTubeでのMV再生回数1,500万回を突破した「千本桜」、新曲「戦-ikusa-」を披露し、会場を熱狂の渦に巻き込んだ。

【セットリスト】 ①戦-ikusa- ②千本桜



しなまゆ フォーライフミュージックエンタテイメント

昨年はリーダー・モリユイ (Vo) の初舞台出演、劇中歌「ストロベリーフィールズ」でメジャーデビューを飾り、1stアルバム「まえならえ」をリリースと、怒涛の一年を駆け抜けたしなまゆ。気合の入ったアップチューン「チャイニーカンフーセッション！」では観客を終始煽りながら、ハッピーなステージを展開。さらに伸びやかなボーカルが印象的なバラード「1つだけ」を披露。『まだまだ始まりたてのバンドですが、これからたくさん、皆さんのもとに会いに行けるよう頑張りますので、よろしくお祈いします!』

【セットリスト】 ①チャイニーカンフーセッション! ②1つだけ



Czecho No Republic 日本コロムビア

昨年は全国各地の夏フェス、ワンマンツアーやリリースを精力的にこなし、大活躍だったCzecho No Republic。2月に発売されたばかりの新曲「For You」では、タカハシマイ (Cho, Syn, Per)、武井優心 (Vo, Ba) が美しいツインボーカルの掛け合いを響かせた。さらにメジャー 1stシングル「Oh Yeah!!!!!!」を披露。ポップで楽しいサウンドに身を委ねた観客と、一体となって盛り上がった。

【セットリスト】 ①For You ②Oh Yeah!!!!!!



Nao Yoshioka ヤマハミュージックコミュニケーションズ

昨年はBLUE NOTE TOKYOでのステージデビュー、その後3カ月間に渡るワールドツアーを見事成功させたNao Yoshioka。一曲目「Love Is the Answer」では圧倒的な歌唱力と、最高のバンドチームで会場を魅了。続いて、自身が『心をこめて作った、最高のアルバム』と語る、初のメジャーアルバム「Rising」（4月8日発売予定）から、「Dreams」を披露。『音楽を通して皆さんと夢をシェアしていきたい、そんな思いをこめた一曲』を時に力強く、時に繊細に美しく歌い上げ、観客を夢のような時間に誘った。

【セットリスト】①Love Is the Answer ②Dreams



MILLEA ドリーミュージック

上京から約8年を経て、今年2月4日に待望のメジャーデビューを果たしたMILLEA。『今日がダメでも、明日また新しいスタートラインを切れればいい』というメッセージがこめられたデビューシングル「虹色のアーチ」を含む2曲を、終始笑顔を絶やさず、言葉のひとつひとつを優しく、心地よさそうに歌い上げた。『デビューまで何年もかかったけれど、今の私だから歌える歌になりました』

【セットリスト】①きらり星 ②虹色のアーチ

ななみ 日本クラウン

痛々しくも美しく、愛を乞う姿を歌い上げた昨年10月発売のデビューシングル「愛が叫んでる」を披露。さらに2月4日発売の新曲「I'll wake up」では、痛みを受け入れ新しいステージへと向かっていく姿を力強く歌い上げ、歌手として次のステップへ飛躍しようとする幕開けを感じさせた。『2015年は皆さんにも見えるような大きな一歩を踏み出し、羽ばたいていきたいと思います』

【セットリスト】①愛が叫んでる ②I'll wake up



片平里菜 ボニーキャニオン

昨年はアメリカ「the NAMM show2014」に参加、2度の国内ワンマンツアーを成功させた片平里菜。冒頭「誰もが」のイントロでは、ギター一本と喉ひとつだけで、広い会場の空気を一瞬で自分のものに。観客が思わず息を飲む中、キュートな魅力が溢れる「女の子は泣かない」を披露。続く「最高の仕打ち」では、インパクトあるタイトルに負けない緩急ある歌声で、短時間に自身の魅力を最大限に詰め込んだパフォーマンスとなった。

【セットリスト】①誰もが ②女の子は泣かない ③最高の仕打ち

MACO ユニバーサル ミュージック

昨年は、レコチョク新人部門年間1位、7月にリリースしたメジャーデビュー・ミニアルバム「23」がiTunes総合1位、オリコン・ウィークリーアルバムランキングTOP10に輝いたMACO。ブレイクのきっかけとなった「We Are Never Ever Getting Back Together」、初のウェディングソング「幸せのはじまり」、自身が『歌手人生で一番大切にしている曲』と語る「ありがとう」を、透き通った声で丁寧に歌い上げた。

【セットリスト】①We Are Never Ever Getting Back Together
②幸せのはじまり ③ありがとう



LIFriends テイチクエンタテインメント

昨年8月には自身最大規模となる、日比谷野外大音楽堂でのワンマンライブを大成功させ、今年3月からは怒涛の47都道府県縦断ツアーを開始するLIFriends。ステージに登場するや否や『準備体操したいと思います!』と観客を巻き込み、アッパーな「アゲアゲええじゃないか!!!」「サマラプイリュージョン2013」で心をつかんだ。『僕たちの今思ってること、伝えたいことを全て詰め込みました!』と語る一曲、「仲間」で締めくくり、満開の笑顔のNHKホールを後にした。

【セットリスト】①アゲアゲええじゃないか!!! ②サマラプイリュージョン2013 ③仲間

GARNiDELiA ソニー・ミュージックエンタテインメント

昨年3月にメジャーデビュー、今年1月にはメジャー1stアルバム「Linkage Ring」を発売したばかりのGARNiDELiA。疾走感溢れるメジャーデビューシングル「ambiguous」で、スタートから一気に観客のテンションはMAXに。続くミドルテンポのバラード「SPiCa」ではメイリア (Vo) の伸びやかな声がホールに響き渡った。さらにエレクトロダンスチューン「Lamb.」では、バックダンサーと共にバキバキのEDMサウンドを展開。わずか3曲で、幅広いジャンルを取り込むGARNiDELiAの魅力を伝えた。

【セットリスト】①ambiguous ②SPiCa ③Lamb.



ぼこた よしもとアール・アンド・シー

精力的なライブ活動に加え、よしもと芸人とコラボしたコントツアーを主宰するなど、ソロメジャーデビュー2周年を迎えた現在も、常に新しいことへ挑戦を続けるぼこた。『28歳で脱サラして音楽活動に専念。会社を辞めて付けた名前が、平仮名3文字ぼこたです』と軽妙なMCでひとしきり観客を笑わせながら、MVで女装に挑戦した「暗闇のシンデレラ」で熱いステージを披露。『2015年は、これまでの経験を活かして、さらに楽曲制作に凝っていきたいと思います』

【セットリスト】①ドラマチック夢物語 ②暗闇のシンデレラ

カスタマイズ キングレコード

昨年は全国108カ所に及ぶインストイベントツアーを完走し、悲願のメジャーデビューが決定したカスタマイズ。2月4日発売の1stシングル「一筋の光明」では、拳を突き上げて観客を煽りながら、骨太のサウンドを展開。『アニソンで天下を獲り、さいたまスーパーアリーナでワンマンライブをやるという夢に向かって、諦めないで頑張っています！』という思いをこめ「Never give up」を、コール&レスポンスを交えながら観客と一体になって熱唱した。

【セットリスト】 ①一筋の光明 ②Never give up



HAPPY ワーナーミュージック・ジャパン

昨年はTOWER RECORDS限定シングル「SUN」でタワーインディーチャート初登場1位、総合チャートで3位を記録。SXSWを含む8都市10公演のUSツアーや、多数の国内大型フェスへの出演を果たしたHAPPY。複数のシンセサイザーを含む楽器とコーラスワークが、何層もの音の重なりを生み、会場中を心地よさと音楽の楽しさで包み込んだ。『2015年はたくさん曲作って、ライブして、もっとデカくなればいいかな、と思います』

【セットリスト】 ①R.A.D.I.O. ②Lucy



会場北ロビーではアーティストグッズや、TOWER RECORDSによるCD・DVD販売、協賛のレコチョクによるブース出展が実施された。さらにレコチョクイメージキャラクターの「レコチョクマ」も会場に駆けつけ、来場者との写真撮影会を行った。

各アーティストはパフォーマンスの他、MC・サッシャ氏によるバックステージインタビューも実施。昨年の活動を振り返ったり、2015年の抱負を述べたりと、来場者、Ustream視聴者に向けそれぞれのメッセージを届けた。

特報 Special Report

「第7回 CD ショップ大賞 2015」授賞式開催

全日本 CD ショップ店員組合は、3月9日、東京都港区のFuture SEVEN にて、第7回 CD ショップ大賞 2015 授賞式を開催した。

第7回目となった今回の授賞式では、大賞にBABYMETALの「BABYMETAL」、BEST ARTIST 賞にゲスの極み乙女。の「魅力がすごいよ」「みんなノーマル」が表彰され、さらに部門賞、入賞作品、地方賞の発表が行われた。

授賞式では、大賞受賞作品の発表とともに、BABYMETALのSU-METALが登壇し、記念の盾を手に、「BABYMETALがこのような賞を受賞するのは初めてなので、盾を持ってすごくドキドキしています。でも、とっても嬉しいです」と笑顔を見せた。また、BEST ARTIST 賞を受賞したゲスの極み乙女。は、コメント動画で「これからもいい作品を作っていきたいと改めて気付かされました」と受賞の喜びを明かし、当日のスケジュールの都合により会場を訪れることができなかったメンバーに代わり、株式会社ワーナーミュージック・ジャパン 邦楽第1クリエイティブルーム プロデューサーの木戸哲氏がトロフィーを受け取り、CDショップ店員に感謝の意を述べた。

大賞 BABYMETAL 「BABYMETAL」 / TFCC-86461



全国のCDショップ店員さん達と共に



トロフィーを手に喜びの笑顔を見せるSU-METALさん



■ CDショップ店員さんのコメント (抜粋)

- ◇ 言葉を失うほど完璧すぎる作品。曲順や楽曲のクオリティもさることながら彼女たちのクリアでパワフルな歌声が聴くたびに深く胸に刻み込まれる。絶対的名曲「紅月 -アカツキ-」「イジメ、ダメ、ゼッタイ」!! 全世界のリスナーも震撼せよ! これがネクストステージへ突入したジャパニーズメタルだ!
- ◇ “男による男の為の男の音楽” — メタルに付き物な女人禁制的思考を一気に覆した彼女たちこそ史上最強のダークヒロイン。女の子ならではの可愛さを兼ね備え、“女の子にしかできない”メタルで世界中はベビメタの虜! もうドキドキとまんない!!!

BEST ARTIST 賞 ゲスの極み乙女。「魅力がすごいよ」 / WPCL-12018 「みんなノーマル」 / WPCL-11747



■ CDショップ店員さんのコメント (抜粋)

「魅力がすごいよ」

- ◇ 魅力が溢れすぎて未だに毎日聴いています。それでも聴くたびに言葉遊びだったり、音の組み立て方に気付いたり飽きない構成になっていて、毎度驚かされています。そしてこの全ての楽曲を操っている川谷絵音! 彼のもう一つのバンド、indigo la end とは正反対の楽曲であるゲスの極み乙女。その溢れ出る才能が恐ろしい!

「みんなノーマル」

- ◇ 徐々に「音が時代とマッチした」瞬間に立ち会った気がします。計算され尽くしたアレンジですとか、歌がうまいですとかそういうことじゃなくて、それこそ聴く人が聴いた瞬間「来たよコレ!」ってなるアレです。おすすめです。

※その他受賞作品については、全日本 CD ショップ店員組合サイト (<http://www.cdshop-kumiai.jp/>) をご参照ください。

平成 27 年度事業計画書

平成 26 年の市況を振り返ると、音楽パッケージソフト（オーディオレコードおよび音楽ビデオの合計）の年間生産金額が前年比 94% の 2,542 億円に減少したが、有料音楽配信の売上金額は PC・スマートフォン向けシングルトラックの年間売上金額が前年比 118%、アルバムの年間売上金額が同 121%、サブスクリプションサービスが同 288% と大きく成長し、配信市場全体では前年比 105% の 437 億円と 5 年ぶりにプラスに転じた。この結果、音楽ソフト（オーディオ+音楽ビデオ）の生産金額と有料音楽配信売上の合計は前年比 95% の 2,979 億円となった。

このような業界環境を踏まえ、当協会では平成 26 年度より協会が担う役割を 4 つ（①業界の収益を「伸ばす」、②違法を「なくす」、③レコード産業への理解・著作権思想を「広める」および④業界の情報基盤整備により足元を「固める」）に整理し、優先度を付けて事業に取り組んでおり、平成 27 年度は、4 つの役割の観点から協会の既存事業の見直しを行うとともに、「需要拡大施策の展開」および「日本音楽の海外展開の促進」を中心に、業界の収益を「伸ばす」事業に特に注力して取り組む。

平成 27 年度の具体的な事業は以下のとおりである。

〔事業活動〕

〔1〕レコード等の普及に関すること

1. 「音楽 CD の再販制度」の維持

- (1) 再販制度の弾力運用を推進するとともに、音楽文化発展の基盤となる再販制度の存置を引き続き求め、必要な諸施策を実施する。
- (2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを継続開催する。

2. レコードの需要拡大施策の展開

- (1) 新人アーティスト育成の施策として昨年度実施した「Coming Next 2015」の結果を検証し、今年度の実施事業を決定する。
- (2) パッケージ需要拡大施策として、昨年度設置した「Music Jacket Promotion Committee」において「ミュージック・ジャケット大賞」と「ミュージックジャケットギャラリー」の連携を深めることにより、さらなるユーザーの認知拡大を図る。また、「CD ショップ大賞」については、第 7 回大賞の状況を検証した上で、第 8 回への支援について決定する。
- (3) デジタル配信の活性化のために、市場拡大施策を検討し、実施する。

3. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

音楽業界で唯一、実績数字に基づく顕彰制度である「日本ゴールドディスク大賞」を継続して実施する。

4. 日本音楽の海外展開の促進

会員各社の海外展開を支援するため、情報収集と海外とのネットワーク構築に本格的に取り組む。

- (1) 「東京国際ミュージックマーケット (TIMM)」への協力等、音楽産業文化振興財団 (PROMIC) との連携を強化する。
- (2) 国および関係機関に働き掛け、会員各社の海外展開への支援を求める。
- (3) 海外とのネットワーク作りの一環として日本音楽プロモーション事業「J-MUSIC LAB」を実施する。
- (4) 会員各社が海外展開を行うに際し必要な情報を収集し、セミナー等を開催する。
- (5) 放送番組の海外展開促進に関する総務省施策を受け、平成 25・26 年度に引き続き、原盤権処理効率化を目的とした実験対応を行い、課題を検証する。
- (6) その他、関係省庁、関係団体等との連携により日本音楽の海外展開促進に資する適切な施策を検討し、実施する。

5. 大学寄附講座の開設

平成 26 年度に開設した明治学院大学の寄附講座を継続し、若年層のレコード産業・著作権制度に対する理解を深める。

6. RIAJ セミナーの開催

会員社へのタイムリーな情報提供を目的としたセミナーを定期的で開催するとともに、一部テーマについては広く一般公開も検討する。

7. その他

「Music J-CIS (Music Japan-Copyright Information Service) 協議会」の構成団体として、音楽権利情報データベースの充実を図る。

〔2〕レコード等に関する調査研究およびデータの収集

1. 市場調査、産業統計の充実

パッケージ商品および音楽配信に関する各種産業統計データの的確な集計・分析を行い迅速に公表する。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

30 年目を迎える「音楽メディアユーザー実態調査」を継続実施し、経年変化を把握するコア調査とともに、必要に応じ特定テーマについて深掘り調査を行う。

〔3〕レコードを通じた音楽文化の保存に関すること

1. 「文化庁芸術祭」への協力

レコード部門における受付窓口として、選考申請および審査に協力する。

2. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

録音エンジニアの技術向上と地位確立を目的として継続実施する。

〔4〕著作権および著作権隣接権等の普及・啓発に関すること

1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 違法配信対策の専任組織「著作権保護・促進センター (CPPC)」での違法音楽ファイルの削除要請の継続実施など、違法対策の強化と効率化を図る。
- (2) 国外サイトに関しては、国際レコード産業連盟 (IFPI) との連携により削除要請の対象を拡大するとともに、中国サイトについては、サイト運営事業者への直接訪問による協力関係の強化や「コンテンツ海外流通促進機構」(CODA) 等関係団体との連携による対策強化を継続して実施する。
- (3) 違法な音楽利用を助長するスマートフォン向け有害アプリに関して、アプリ提供者等に対する注意喚起・警告活動や、アプリ削除要請、違法ファイルへのリンク削除要請、ファイル削除要請等を継続実施するほか、サイト広告事業者団体と連携し、有害アプリ情報を提供し、有害アプリ製作者への広告収入を断つ取り組みを行う。
- (4) 悪質な違法行為者の告訴等を継続して実施する。
- (5) 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」(CCIF) の取組みに継続参加し、違法行為者に対する啓発メールによる注意喚起活動を継続する。
- (6) ファイル共有ソフトを悪用した違法行為者のうち特に悪質性の高い者に関して、発信者情報開示請求に基づく損害賠償請求や告訴等の対応を継続する。

2. 違法利用を抑止する啓発キャンペーン等の周知活動

音楽創造サイクルへの理解を促進させる著作権啓発活動や違法配信問題を訴求するキャンペーン等を実施する。

3. 著作権教育活動の実施

修学旅行生等への著作権教育など若年層への著作権教育の機会を増大するための取組みを強化する。

4. 「レコード保護期間」の延長に向けた活動

国内外の権利者団体等と連携を取りながら、レコード保護期間延長に向けた活動を継続する。

5. 「私的録音録画補償金制度」の見直しを求める活動

文化庁著作権分科会の審議会における検討に参画し、他の権利者団体と連携して補償金制度に代替する新たな対価還元制度の検討を継続して行う。

6. レコードの業務上の利用から適正な対価が還元される制度創設に向けた活動

実演家団体と連携して制度創設に向けた関係省庁への働き掛けを継続して実施する。

【5】レコード等に関するデータの公表

レコード産業への理解促進と産業全体のイメージ向上を図るため、機関誌、ホームページ、プレスリリース等を活用して積極的に情報発信するとともに、社会貢献活動や文化活動についても広報する。

【6】レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

二次使用料を安定的に確保するために、放送・有線放送事業者との間で協議を実施し、使用料水準の維持確保に努める。

【7】レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. 放送番組のネット配信にかかる集中管理の取組み

会員社・利用者双方から要望がある利用形態への集中管理範囲の拡大を検討するほか、放送番組のネット配信について、新規許諾申請案件への対応と現行使用料規程の見直しを適宜行う。

2. 教育・文化・冠婚葬祭分野のレコード利用集中管理事業の推進

教育・文化系催事に係る一任型集中管理事業の安定化を図りつつ、管理対象拡大に向けて取り組む。冠婚葬祭分野についてもマーケット情報を収集しながら、一任型集中管理事業化に向けた課題を検証する。

3. ロッカー型クラウドサービスに係る権利処理スキームの検討

平成26年度文化庁著作権分科会の小委員会において音楽権利者団体から提案したワンストップ型の権利処理スキームについて、実現に向けた検討を推進する。

【8】レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

貸レコード使用料等の新分配スキームについて、運用の安定化・効率化を図る。

【9】私的録音補償金に関する指定管理団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の受領および分配

私的録音補償金管理協会 (sarah) の構成団体として、私的録音補償金制度の円滑な運用を支援する。

【10】その他

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等

文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見を表明する。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体ならびに国際レコード産業連盟 (IFPI) およびアメリカレコード協会 (RIAA) 等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を積極的に推進する。

3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営

レコード制作者としての社会的倫理責任を果たすため、「レコード制作基準」にのっとり「レコード倫理審査会」を開催・運営する。

4. 業界規格 (RIS) の制定と改正

CD等レコード商品の表示、付属品等に関する日本レコード協会規格 (RIS) について必要な制定・改正を行う。

5. 「ISRC」 (International Standard Recording Code) の管理機関としての活動

音源の識別に利用される「ISRC」 (国際標準レコーディングコード) の国内登録管理機関として、普及・管理に関する活動やコードの申請受付・交付等を行う。

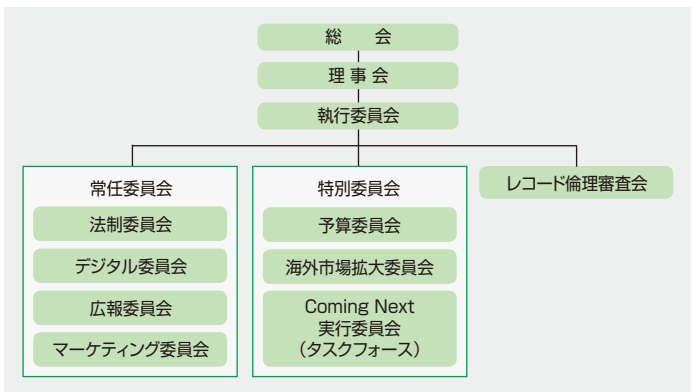
6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

福祉厚生・療養施設 (児童福祉施設、老人ホーム等) の方々に音楽を楽しんでいただくことを目的として昭和38年 (1963年) から毎年実施しているレコード (CD) 寄贈事業を継続する。

7. 会員社業務の集約化 (シェアードサービス)

- (1) 放送局向けオンラインプロモーション実証実験を継続し、その結果を踏まえて今後の取組みを検討する。
- (2) 会員社業務の効率化と負担軽減を図るため、集約化が考えられる業務に関する会員社ニーズを引き続き把握する。

〔運営体制〕 (平成27年4月末まで)



(平成27年5月より) 委員会を統廃合し、以下のとおりとする。



本年度の事業遂行のため、関係諸官庁ならびに関係諸団体と常に連絡協調を保持しつつ業務を推進する。

公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出

3月25日、当協会は2014年12月31日時点のレコードメーカーによる、「音楽CD等の再販制度の弾力運用の状況について」を報告書として取りまとめ、公正取引委員会に提出した。今回は、同報告書より抜粋した内容を掲載する。なお、当協会ホームページにて全文を公開している。(http://www.riaj.or.jp/all_info/saihan/saihan7.html)

【音楽用CD等の再販制度に関する弾力的な運用と流通改善について】

1. 時限再販・部分再販等再販制度の運用の弾力化

(1) 時限再販期間の短縮について

レコードメーカー各社は、1998年以降時限再販期間のさらなる短縮に取り組み、現在再販期間は1年または6カ月となっている。

(2) 時限再販期間経過後商品の値引き販売について

店頭値引きセールは恒常化している。

(3) 非再販商品の発売と値引き販売について

全CD新譜は15,996タイトルと、前年(2013年16,528)よりやや減少したが、CD+DVD商品は2,132タイトル(2013年2,006)、非再販CDのタイトル数は1,615タイトル(2013年1,201)と増加し、CD+DVD商品および非再販CDの合計で3,742(2013年3,207)タイトルが非再販商品として発売された。

CD+DVD商品は今年もヒット作品で多く発売されており、2014年に発売され正味出荷枚数が100万枚を超えた「ミリオン認定作品」は4タイトル(2013年5タイトル)あったが、その全てがCD+DVD商品の形態で発売された。

(4) インターネット廃盤セールの実施

1992年度から毎年実施しており、好評を得ている。

名称：レコードファン感謝祭
～廃盤CDディスカウントセール～

日程：2015年1月7日(水)～1月21日(水)15日間

出品商品：種類約2,200タイトル、総数約52,000枚

廃盤商品は発売時定価の70%引き、時限再販期間経過商品は発売時定価の25%引きで販売。

(5) 価格表示方法の変更について

商品が非再販となっているか否かを認知しやすい方法に変更している。

2. 各種割引制度の導入等価格設定の多様化

2014年のアルバムの年間平均小売価格は2,003円となり、2013年の1,880円より23円上昇した。これは、消費税の変更に加え、高付加価値商品の増加によると推測される。なお、2001年当面存置決定当時の2,399円対比では約17%下落している。

3. 再販制度の利用・態様についての発行者の自主性の確保

従来からレコードメーカー各社が自らの判断で決定しており、今後も同様である。

4. サービス券の提供等消費者に対する販売促進手段の確保

サービス券・ポイントカードは消費者サービスの一環として定着している。

5. 通信販売・直販等流通ルートの多様化およびこれに対応した価格設定の多様化

メーカー各社は、従前から消費者の購入利便性の向上のため、通販・直販等流通ルートの多様化に取り組むと同時に、多様な価格設定を行っている。

6. 円滑・合理的な流通を図るための取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正

取引関係に関する特段の弊害はない。

7. その他

レコードメーカー各社、販売店、有料音楽配信サイトでは、CD音源の無料試聴サービスを実施している。また販売店においては、高速大容量配信ネットワーク型の音楽検索試聴システムを導入しており、2014年12月末時点で619店に1,619端末が設置され、バーコード検索により314万曲の試聴が可能となっている。

レコード業界は、音楽用CD等の再販制度について国民から引き続き理解が得られるよう、今後も消費者利益の向上を目指し、音楽用CD等の企画の多様性の確保、流通の合理化などの改善に積極的に取り組んでまいります。

以上

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。



夢いっぱい、ビートルズブーム大作戦

高嶋 弘之 (たかしま・ひろゆき) 氏

当時の役職・東芝音楽工業株式会社 ディレクター

❖ ビートルズとの最初の出会いは「何じゃこりゃ?」

終戦直後11歳だった僕は、「リンゴの唄」に始まる戦後のヒット歌謡曲を生で聴いてきました。兄からはジャズを、ピアノを習った姉と妹からはクラシックの影響を受け、音楽に親しんで育ちました。そして、中学生の頃から音楽に強い舞台演出家を志望するようになりました。きっかけは校内でやった野口英世の舞台劇。重要シーンにシューマンのトロイメライを流したところ、観客が涙するのを見て、これは面白いと思った。結局、演出家の夢は叶いませんでしたが音楽には携わることになりました。

東芝ではまず洋楽担当ディレクターになり、数年後にEMIのポピュラー担当ディレクターになりました。当時はまだシャンソンが全盛で、アダモなどをヒットさせました。その後、日本コロムビアにあった英コロムビア・レーベルが東芝に戻って来て、まず手をつけたのがクリフ・リチャードです。日本コロムビアが売り損ねていたクリフを「ヤング・ワン」などでヒットさせました。レーベルも「エンジェル」ではシャンソン色が強いので、イギリスのポップスを売ろうとの意気込みで「オデオン」を立ち上げました。

ザ・ビートルズに出会ったのもその頃です。最初に聴いたのは「ラヴ・ミー・ドゥ」で感想は「何じゃこりゃ?」。でも次に聴いた「プリーズ・プリーズ・ミー」は僕が好きなタイプの曲でインパクトがあった。1963年春のことです。メロディ・メイカー等のチャートでも、尋常じゃない上がり方をしていました。いいかげんなことはできない、と思いましたね。良い作品も一度売り込みに失敗すると後で非常に苦労する。だからこそ慎重にかかることにしたんです。

❖ ビートルズルック、ビートルズカット、そして「ノルウェーの森」

放送局を回りビートルズへの反応を確かめましたが、どうもノリが悪い。そんな中、ある女性ディレクターだけは「売れるかどうか分からないけど、私は好きよ」と言ってくれた。既成概念で判断する男性陣と違う意見に勇気づけられまし

た。よし、女性向けのアイドル路線でいこう、と決意し、「プリーズ・プリーズ・ミー」、1964年2月発売を決めました。

そこから、あの手この手でビートルズブームを仕掛けました。ヘアスタイルをビートルズカット、ファッションをビートルズルックと名づけ、新たなトレンドの誕生をメディアを通じて印象づけました。独特のスーツは銀座の洋品店と話を付けて全国販売してもらおう。そのスーツ30着をいただき、東芝の宣伝マンに着せて銀座を行進させる。理髪店でビートルズカットになる若者の様子をテレビで流してもらおう…。そんな中、1963年末に、アメリカのキャピトルが「抱きしめたい」を第一弾で出すと情報が入り、日本でも急ぎよ「抱きしめたい」を「プリーズ・プリーズ・ミー」に5日ほど先行して発売しました。以降、次々にヒットが生まれるわけですが、そのプロセスでは、コンサートの盛り上げ役を担うなどファンクラブも大いに力を添えてくれました。

楽曲の邦題にもこだわり、イメージやリズムを重視し、時には原題も活かしました。オールディーズとは一線を画し、よくある「涙の～」等は避けました。唯一「涙の乗車券」は例外ですが。印象深い邦題は「ノルウェーの森」。本来は「ノルウェー製家具」と訳すのが正しいのだけど、妖しい女と出会う詞の内容、シタールなども入った独特な音色を聴いた瞬間、「ノルウェーの森」という訳しか浮かびませんでした。あとは「抱きしめたい」「恋する二人」も気に入っています。

ビートルズブーム大作戦、ほかにもラジオ番組を活用したり、できることは何でもやりました。暴走気味なところもありましたが、夢いっぱい、楽しかったな。

これからの若い音楽人には、ビートルズも含め過去のいい楽曲をどんどん聴いてほしい。昔は機械に頼らずすごい音楽を創るアーティストがたくさんいましたから。そうして自分を鍛え、自分の信じる音楽を打ち出してほしいと思います。

…そうだ、これは本当の話なんです。僕が病院で手術を受けた時のことです。手術前には誰もナーバスになりますが、僕がビートルズ担当ディレクターだと知った病院スタッフが、リラックス効果を狙ってかビートルズをかけてくれました。麻酔で意識がなくなる間際、あの曲が流れてきました。でも、これはまずいぞ…「ハロー・グッドバイ」。

担当アーティスト

ザ・ビートルズ、クリフ・リチャード、アダモ、クロード・チアリ、黛ジュン、由紀さおり、ザ・フォーク・クルセダーズ、市川染五郎 (現・松本幸四郎) ほか多数

Monthly Production Report

2015年2月度レコード生産実績

2月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比111%の2,080万枚・巻、金額で同120%の245億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比101%の1,518万枚・巻、金額で同102%の166億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比151%の562万枚・巻、金額で同193%の78億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	2月実績						2015年1月～2015年2月累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シ	8cmCD	邦	3	0	156%	2	0	177%	6	0	169%	4	0	167%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
		計	3	0	156%	2	0	177%	6	0	172%	4	0	170%
ン	12cmCD	邦	5,411	36	97%	3,757	23	93%	8,215	30	93%	5,692	18	89%
		洋	16	0	16%	3	0	11%	17	0	15%	3	0	11%
		計	5,427	36	96%	3,760	23	93%	8,232	30	92%	5,695	18	88%
ル	小計	邦	5,414	36	97%	3,759	23	93%	8,221	30	93%	5,696	18	89%
		洋	16	0	16%	3	0	11%	17	0	15%	3	0	11%
		計	5,430	36	96%	3,762	23	93%	8,238	30	92%	5,699	18	88%
12cmCD アルバム	邦	7,496	49	107%	10,741	65	103%	15,313	56	111%	22,601	70	126%	
	洋	2,072	14	93%	1,928	12	113%	3,712	13	83%	3,623	11	97%	
	計	9,568	63	103%	12,669	76	105%	19,025	69	104%	26,225	81	121%	
CD 合計	邦	12,910	85	102%	14,500	87	100%	23,534	85	104%	28,297	88	116%	
	洋	2,088	14	89%	1,930	12	112%	3,729	14	81%	3,627	11	96%	
	計	14,998	99	100%	16,431	99	102%	27,263	99	100%	31,924	99	114%	
アナログ ディスク	邦	16	0	5277%	43	0	5119%	41	0	280%	87	0	257%	
	洋	14	0	374%	20	0	421%	26	0	363%	39	0	417%	
	計	30	0	750%	63	0	1119%	67	0	307%	125	0	292%	
カセット テープ	邦	118	1	159%	97	1	154%	182	1	96%	149	0	94%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	計	118	1	159%	97	1	154%	182	1	96%	149	0	94%	
その他	邦	16	0	106%	17	0	79%	22	0	42%	29	0	44%	
	洋	19	0	119%	42	0	114%	35	0	83%	86	0	103%	
	計	34	0	113%	59	0	101%	57	0	60%	115	0	77%	
合 計	邦	13,061	86	103%	14,657	88	101%	23,780	86	104%	28,562	88	116%	
	洋	2,120	14	90%	1,992	12	113%	3,790	14	82%	3,751	12	97%	
	計	15,181	100	101%	16,649	100	102%	27,570	100	100%	32,313	100	114%	

● 音楽ビデオ

	2月実績						2015年1月～2015年2月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	4,483	80	147%	5,161	66	191%	8,651	80	135%	9,470	66	122%
	洋	104	2	95%	119	2	94%	232	2	93%	273	2	100%
	計	4,587	82	145%	5,280	68	187%	8,883	82	134%	9,743	68	121%
Blu-ray Disc	邦	1,025	18	184%	2,517	32	211%	1,950	18	182%	4,590	32	147%
	洋	5	0	76%	17	0	82%	10	0	95%	33	0	103%
	計	1,031	18	183%	2,534	32	209%	1,960	18	181%	4,623	32	147%
テープ・その他	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	
合 計	邦	5,509	98	152%	7,678	98	197%	10,600	98	142%	14,060	98	129%
	洋	109	2	94%	136	2	92%	242	2	93%	306	2	100%
	計	5,617	100	151%	7,814	100	193%	10,842	100	140%	14,366	100	128%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

	2月実績						2015年1月～2015年2月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオ	15,181	73	101%	16,649	68	102%	27,570	72	100%	32,313	69	114%	
音楽ビデオ	5,617	27	151%	7,814	32	193%	10,842	28	140%	14,366	31	128%	
合 計	邦	18,569	89	114%	22,335	91	121%	34,381	90	113%	42,622	91	120%
	洋	2,229	11	90%	2,128	9	111%	4,031	10	82%	4,057	9	97%
	計	20,799	100	111%	24,463	100	120%	38,412	100	109%	46,680	100	118%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

	2月実績						2015年1月～2015年2月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	7,282	76	121%	10,252	63	123%	13,511	77	115%	19,029	63	102%
テープ・その他	2,251	24	110%	6,130	37	125%	4,002	23	121%	11,203	37	123%
合 計	9,532	100	118%	16,382	100	124%	17,513	100	117%	30,232	100	109%

● オーディオ/ビデオ合計

	2月実績						2015年1月～2015年2月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	15,181	61	101%	16,649	50	102%	27,570	61	100%	32,313	52	114%
ビデオ	9,532	39	118%	16,382	50	124%	17,513	39	117%	30,232	48	109%
合 計	24,714	100	107%	33,031	100	112%	45,083	100	106%	62,545	100	111%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● ダブル・プラチナ

Tree	SEKAI NO OWARI	2015.01.14	TF
------	----------------	------------	----

● ゴールド

L-ee-er GENERATION EX White	Acid Black Cherry	2015.02.25	AMC
	GENERATIONS from EXILE TRIBE	2015.02.18	AMC
	NEWS	2015.02.25	JE

シングル

● ダブル・プラチナ

Sakura	嵐	2015.02.25	JA
--------	---	------------	----

● ゴールド

記憶/ココロオドリバ ズンドコ パラダイス 華麗なる逆襲/ユーモアしちゃうよ サクラミチ	渋谷 すばる	2015.02.11	JAI
	ジャニーズWEST	2015.02.04	JE
	SMAP	2015.02.18	V
	東方神起	2015.02.25	AMC

ビデオ

● プラチナ

2014 Concert Tour Kis-My-Journey	Kis-My-Ft2	2015.02.04	AMC
----------------------------------	------------	------------	-----

● ゴールド

namie amuro LIVE STYLE 2014	安室 奈美恵	2015.02.11	AMC
-----------------------------	--------	------------	-----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AMC: エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ / JA: ジェイ・ストーム / JAI: ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ) / JE: ジャニーズ・エンタテイメント / PC: ボニーキャニオン / SML: ソニー・ミュージックレーベルズ / SV: ビジュアルアーツ / TF: トイズファクトリー / UM: ユニバーサル ミュージック / V: JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント / WJ: ワナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信

※「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

「シングルトラック」

邦楽

● ダブル・プラチナ

R.Y.U.S.E.I.	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2014.06.25	AMC
--------------	--------------------------------------	------------	-----

● プラチナ

EXILE PRIDE ~こんな世界を変するため~	EXILE	2013.04.03	AMC
20-CRY-	加藤 ミリヤ	2009.01.28	SML
crossing field	LiSA	2012.08.08	SV
自由の翼	Linked Horizon	2013.07.10	PC

● ゴールド

愛は勝つ	KAN	2004.02.25	UM
great escape	cinema staff	2013.08.21	PC
愛をからだに吹き込んで	Superfly	2014.10.09	WJ
あなたに恋をしました	chay	2015.02.02	WJ
希望山脈	渡り廊下走り隊7	2011.11.23	PC

洋楽

● ゴールド

帰ってほしいの	ジャクソン 5	2005.08.15	UM
伝説のヤングマン~ウィー・アー・ヤング~ (feat. ジャネール・モネイ)	FUN.	2011.09.26	WJ

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

3月10日から4月8日にかけて、前号でもご案内いたしました「ミュージック・ジャケット大賞2015」の一般WEB投票が開催されました。また、特設3会場（湘南T-SITE、新星堂モザイクモール港北店、なんばCITY）での展示、会場投票も無事終了いたしました。多数のご投票、ありがとうございました。

受賞作品につきましては、5月15日から24日にかけて、新宿高島屋にて開催される「Music Jacket Gallery 2015」会場およびプレスリリースにて発表予定です。今年で9回目を迎える「Music Jacket Gallery 2015」は、日本国内唯一の音楽パッケージの大展覧会。今回の「ミュージック・ジャケット大賞2015」の候補50作品のジャケットをはじめ、日本の音楽文化の豊かさ、楽しさを伝える優れた音楽パッケージの数々を展示いたします。ぜひ、お越しください。

詳細は以下URL・Facebookをご覧ください。

【ミュージック・ジャケット大賞2015】

公式サイト <http://mja.jpn.com>

Facebook <https://www.facebook.com/mja.jpn>

【Music Jacket Gallery 2015】

公式サイト <http://musicjacket.jp/>

Twitter @musicjacket

Facebook <https://www.facebook.com/musicjacket>



エルマークキャラクター

エルマーくん

THE RECORD No.665 2015年4月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明

編集人 田口 幸太郎

発行日 2015年4月10日

発行 一般社団法人 日本レコード協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F

TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313

URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

いよいよ北陸新幹線が開通しました。まだ訪れたことのない金沢は、兼六園、蓄音機館、21世紀美術館、近江町市場と見たい所がたくさんです（石川といえば、おいしい日本酒もはずせませんね）。春の訪れを待ちわびるこの季節に、新しい世界へ連れて行ってくれるニュースとあって、とにかくワクワクが止まりません。

17組ものNext Artistたちが集った「Coming Next 2015」は、新星のきらめきがぶつかり合う、フレッシュかつ熱気あふれるステージが展開され、新しいアーティスト、新しい音楽とのワクワクする出会いの場となりました。ご来場いただいた皆様、心のこもった進行をして下さったサッシャさん、17組の出演アーティストをはじめご協力いただいた関係各所の皆様へ、この場をお借りして御礼申し上げます。(M)